



訪春 那波多目功一(紀卿 卷五-八一五) 奈良県立万葉文化館蔵

開館時間 10時30分から17時30分  
(最終入館17時)  
休館日 日曜日  
入館料 無料  
会場 桐蔭学園  
アカデミウム ソフオスホール  
主催 学校法人桐蔭学園  
協力 奈良県立万葉文化館

令和元年五月二十五日(土)  
— 六月二十九日(土) —

# 日本画でみる 万葉集

桐蔭学園 アカデミウム  
神奈川県横浜市青葉区鉄町 1614  
TEL.045-975-2100  
<http://toin.ac.jp/ma/>  
TOIN GAKUEN ACADEMIUM

鶴鳴きわたる 松尾敏男(山部赤人 卷六-九一九) 奈良県立万葉文化館蔵







万葉花 - はなかつみ(部分) 大矢 紀(中田女郎 巻四-六七五)



野遊 大矢十四彦(作者未詳 巻十一-一八八三)



明日香川夕照 奥田元宋(大伴書持 巻八-一五八七)

歌人としては、額田王、柿本人麻呂、山部赤人、大伴家持など、天皇や貴族、宮廷歌人が名を連ねます。一方で、作者不詳の防人、農民などさまざまな身分の人の歌も含まれています。人間性豊かで素朴な表現も多くみられ、和歌だけでなく『源氏物語』をはじめとした日本文学全般にも大きな影響を与えています。また、五世紀から八世紀の政治や社会を知るうえで、日本の文学や歴史に関する書物を語るうえで、欠かすことの出来ないものとなっています。

万葉集は五世紀から八世紀にかけて詠まれた和歌を集めた、世界に類を見ない現存するわが国最古の和歌集です。このたび、万葉集をモチーフに描かれた日本画の作品展を開催致します。授業等でその一端に触れることもある万葉集ですが、古典文学の一つとして紹介され、代表的な和歌数首の解釈に留まることが多いのではないのでしょうか。全二〇巻からなる万葉集の総和歌数は四五〇〇首を超え、詠まれた和歌を解釈するには、その時代背景、当時の文化を理解しなければならぬため、努力と困難を伴うことになると思います。

桐蔭学園理事長 溝上慎一

## 「日本画でみる万葉集」 開催に寄せて



はぎの頃 田淵俊夫(丹比国人 巻八-一五五七)



やまぶき 高橋清見(厚見王 巻八-一四三五)



秋野 吉村誠司(湯原王 巻八-一五五二)

銀も 金も玉も 何せむに  
勝れる宝 子に及かめやも  
(山上憶良 巻五-一八〇三)

万葉集の各歌は部立てに分けられており、各巻はその部立て、年代、国ごとに配列されています。部立ては、人を愛する恋の歌である「相聞歌」、死者を悼む歌である「挽歌」、それ以外の「雑歌」の三大部立てで、「雑歌」には旅情や自然を詠んだ歌や、宮廷に関する歌なども含まれています。

その万葉集の世界観を大和絵の流れを汲む日本画の伝統的手法で描かれたのが、万葉日本画になります。奈良県立万葉文化館開館に合わせ、当代随一の日本画家一五四名が万葉集からインスピレーションを受けて描いた作品群は、視覚とともに万葉集の世界へ私たちを誘ってくれます。本展では、奈良県立万葉文化館所蔵品から万葉日本画三〇点を精選し展覧いたします。

新しい元号の「令和」も万葉集が出典とされており、改めて古典文学、日本の文化を知る好機になれば幸いです。人を愛し、死者を悼み、自然を慈しむ、万葉の人々が和歌に託した思いが普遍的なものであるからこそ、万葉集は時代を超えても人々の心を捉えて離さないものになっています。時代が変わっても社会に羽ばたく子どもたちが万葉人と同じように人の心に寄り添い、自然を美しく感じる、温かで豊かな心を育んでくれることを願います。

万葉集の各歌は部立てに分けられており、各巻はその部立て、年代、国ごとに配列されています。部立ては、人を愛する恋の歌である「相聞歌」、死者を悼む歌である「挽歌」、それ以外の「雑歌」の三大部立てで、「雑歌」には旅情や自然を詠んだ歌や、宮廷に関する歌なども含まれています。

## TOIN GAKUEN ACADEMIUM 【桐蔭学園アカデミウム 交通のご案内】



※駐車場はございませんので、公共交通機関等をご利用ください。

- 【バスご利用の場合】各駅より約15分
- ・東急田園都市線 青葉台駅より「桐蔭学園前」行、終点。または「市が尾駅」行、「桐蔭学園前」下車
- ・東急田園都市線 市が尾駅より「桐蔭学園前」行、終点。または「青葉台駅」行、「桐蔭学園前」下車
- ・小田急線 柿生駅より「桐蔭学園」行、終点。または「市が尾駅」行、「桐蔭学園入口」下車
- 【タクシーご利用の場合】
- 東急田園都市線 青葉台駅、または小田急線 柿生駅から便利です。行き先は「桐蔭学園 鉄(くろがね) 神社前」とお伝えください。

《掲載作品はすべて奈良県立万葉文化館所蔵》